

校報かめのこ

福生六小ホームページ <https://fussa-6e.hs.fussa.school/>

か	考える子
め	めげない子
の	伸びる子
こ	心豊かな子



「睦びの月」



福生市立福生第六小学校

校長 富永 大優

令和7年が始まりました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、子ども達の冬休みは例年通りの期間でしたが、この年末年始は、暦の関係で長いお休みだった保護者の方もいらっしゃると思います。親戚や友人との久しぶりの再開や楽しいひと時を送られた御家庭も多いのではないのでしょうか。

一月は、昔の暦で「睦月」と呼ばれています。その由来を調べてみると、国立国会図書館のホームページには、「正月に親類一同が集まる、睦び(むつび=親しくする)の月」とあります。もちろん由来は諸説ありますが、正月に親類一同が集まって飲食をしながら、睦み合う(むつみあう=互いになれ親しみ合う)から「睦びの月」となり、それが「睦月」となったという説が最も有力とされています。

また、「睦」の漢字には、「仲がよい。親しい。むつまじい。」という意味があります。子ども達には、ぜひ今年も学校で共に生活している仲間と睦み合ってほしいものです。1月14日(火)には、福生市教育委員会主催のいじめ防止サミットが開催されます。福生市にある小中高校の代表者が集まり、いじめ防止に向けた話し合いをします。そして、その様子をオンライン上で各学級の子供達が見聴し、その後、各学級でもいじめ防止について話し合います。「睦びの月」に、仲良くする、親しくするための話し合いがもてることに、とても意義深いものを感じます。そして、この話し合いをきっかけに、子ども達がより一層、学校生活を楽しんでほしいと願わずにはられません。私たち教職員も子ども達の笑顔が続くよう今年も努めてまいります。

ところで、我が家や親戚は、残念ながら年末から年始にかけて感染症にかかってしまい、例年のように「睦み合う」ことはできませんでした。健康であることの大切さを改めて実感するお正月となりました。まだまだ様々な感染症が流行しています。みなさまにおかれましては、お体に気を付けて、この冬をお過ごしください。